

船舶事故調査報告書

平成28年8月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年9月23日 05時00分ごろ
発生場所	高知県高知市高知港 高知港御疊瀬灯台から真方位012° 2.26海里付近 (概位 北緯33° 32.6′ 東経133° 34.1′)
事故の概要	プレジャーボート ^{ジェイエイ ケイエムアイ} JA5KMIは、南進中、また、遊漁船 ^{やまひろ} 山浩丸は、錨泊中、両船が衝突した。 JA5KMIは、左舷船首部外板に擦過傷を生じ、また、山浩丸は、左舷船首部外板等に破損を生じた。
事故調査の経過	平成27年11月10日、調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート JA5KMI、5トン未満（長さ6.97m） 282-18733高知、個人所有 B 遊漁船 山浩丸、5トン未満（長さ6.28m） 282-16165高知、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型・特殊・特定 B 船長B、二級小型・特定
負傷者	なし
損傷	A 左舷船首部外板に擦過傷 B 左舷船首部外板及び左舷船首部ガンネルに破損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏 日出時刻：05時54分ごろ
事故の経過	A船は、約25km/hの対地速力で航行中、船長Aが、周囲に他船を見掛けず、操舵室で操舵ハンドルを握って高知市の新青柳橋に向けて変針した頃、居眠りに陥り、衝撃を感じて目覚め、B船との衝突に気付いた。 船長Bは、錨泊して釣り中、船首方向約600mに接近するA船を認めたが、A船が錨泊中のB船を避けると思って見ていたところ、避航する様子がなかったため、ライトを照らし、大声を出して腕を振り、注意を喚起した。
分析	A船は、船長Aが居眠りに陥ったことから、錨泊中のB船に気付かずに航行したものと考えられる。 船長Aは、海上が穏やかで、周囲に他船を見掛けなかったことから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。

原因	本事故は、夜間、A船の船長Aが居眠りに陥ったため、A船が錨泊中のB船に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 常時適切な見張りを行うこと。・ 眠気を感じた場合には、身体を動かしたり、ガムをかんだりするなど、居眠り防止に努めること。